

② 町の土地利用

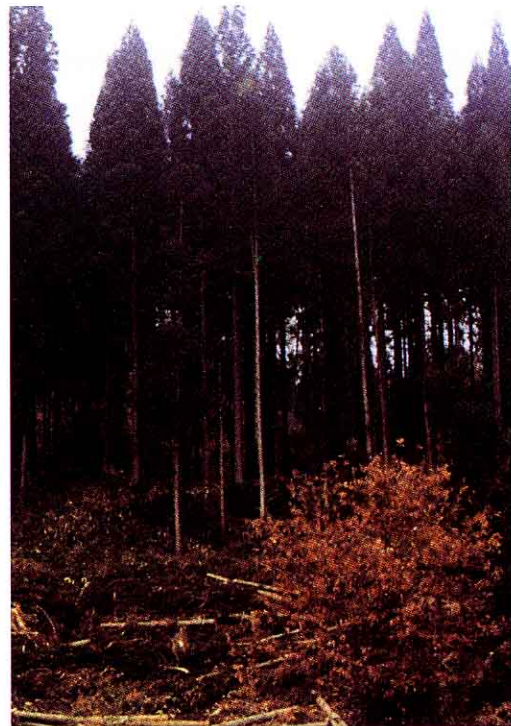
町の広さは、12ページのグラフからもわかるように、195.67平方キロメートルです。そのうち約80パーセントは山林や原野です。そののこりのわずかな土地は宅地や耕地になっています。耕地は、水田や畑として利用されているほか、わずかながらかじゅ園としても利用されています。

昭和35年には、耕地面積が2668ヘクタールでしたが、年々工場や住宅がたったり、山間の耕地を耕す人が少なくなって、この40年の間に335ヘクタールもへっています。

とても広い山林は、国・公有林にくらべて私有林が、全体の80.5パーセントと多く、たくさんの木材やまき、木炭を生産していました。しかし、昭和50年ごろから山の仕事をする人が少なくなり、手入れがゆきとどかなくなっています。



▲畑の仕事



▲山の仕事